数学２学年の学習

狭山市立入間野中学校

■ 学習の目標

①計算力を身につけ、物事を素早く正確に表現・処理する力 をつける。
②文字を使うことのよさを知り、方程式を解けるようにする。またそれ利用することのよさを知り、実際に活用できるようにする。
③図形について様々な知識・性質を身につける。
④物事を式・グラフ・表・図形などを使って表し、課題解決に役立てるようにする。
⑤順序だてて考える力や、いろいろな見方・考え方を身につける。

■ ２学年の目標

① 文字を用いた式を活用することができ，それを用いて数量や数量の間の関係を表現し，説明できるようにしよう。
② 連立二元一次方程式について理解し，それを活用できるようにしよう。
③ 変化や対応についての見方や考え方をいっそう深めるとともに，事象の中から一次関数を見いだし，それを用いることができるようにしよう。
④ 図形の性質を調べる上で基礎となる見方・考え方や基本的性質を，観察や操作などの活動を通して明らかにし，論証の意義と推論の進め方について理解しよう。
⑤ 平行線についての性質や三角形の合同条件を根拠にして，三角形や平行四辺形の性質を調べ，それらを活用することができるようにしよう。
⑥ 不確定な事象についての観察や実験などの活動を通して，確率について理解し，それを用いて考え表現することができようにしよう

■ 評価の方法

次の４つの項目で観点別に評価し、総合的な評価をします。

①関心・意欲・態度
・数学に興味を持ち、意欲的に授業に取り組んでいるか。
・授業の約束をきちんと守ることが出来ているか。
・提出物（ノート、ワーク、宿題など）の期限を守り、きちんと出来ているか。

提出物と授業中の態度、挙手、発言、作業などをもとに評価します。

②見方・考え方
・身近なことを数学的に考えることが出来るか。
・自分の考えをしっかり持ち、自分の言葉でまとめることや振り返ることが出来るか。

③技能
・計算などの数量に関する問題を解くことが出来るか。
・図形などを数学的に表現することが出来るか。

④知識・理解
・数や図形などの基本的な用語や公式、計算方法などを身につけており、活用することが出来るか。

定期テスト、小テスト、確認テストや授業中の解答の様子をもとに評価します。

■ 授業の約束

①先生や発表者の話をしっかり聞く。
②発表するときは、起立し、みんなに聞こえる声で話す。
③問題を解いたり、作業するときは私語をせず、集中する。
④ノートは A4 判の大学ノート類を使用する。
⑤板書されたことは、すべて記入する。
⑥答えだけではなく、問題や図は必ず書く。
⑦授業に先生の課題が早く終わった場合は、ﾜｰｸを進める。